





# 日本人の血

(続編)

駒形  
秀雄

本紙7月5日(上)付けと同12日(下)付けで「日本人の血」という小論を一覧頂きました。この内容について種々の異なる階層の方から感想やご意見をお寄せ頂き、この様な主題について皆様の関心の強さを知ることができ、大変嬉しく、また、私自信の勉強にもなり、厚くお礼申し上げたいと思います。

大多数の方からのご連絡は「そうだ、この文の言ふとおりだ。」日本人の血パワーをこのブラジルで發揮して日本人全体の地位を高めよう」と書かれました。

私はこの文章を読んで力が抜けられた。それに合わせて「この子の弟として自信をもつて生きようと思った」というものでした。

それによると、そのような自覚をもつた人を意味します。

ます「日本人の血」と記しましたが、これは文

章のタイトルなので、短く分かり易く表示したものです。それは皆様お分かりの通り、「日本人の血液」ではありません。伝子のほかにその生まれ育った環境とか、受けた訓練などによって形成されると思われます。

もう一つ、遺伝子とい

うのは直ぐに子に現れる

優性の遺伝子(親にそつくりの子が生まれる)

と、直ぐには子に現れ

るのは、日本人の特質が移るわけではなく、アフリカ人のままであります。本来ならば「日本人の血統」とか、「サムライの血統」と理解したいところです。

一般に「貴い血筋」と

いふ場合、單に貴族や

豪族と一緒にこの命題を

考えて見たいと思いま

す。

寄せられた感想の一つ

は「日本人の血」と言つ

るのはあるか

日本文化が凝

った場合、單に貴族や

豪族と一緒にこの命題を

考えて見たいと思いま

す。

# 夏の高校野球が開幕

宣誓「ひた向きに、たくましく」

【共同】第94回全国高校野球選手権大会は8日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開会式を行い、49代表校の球児による15日間の熱戦が幕を開けた。真夏の太陽の下、開会式は午前9時に開始。3万4千人の観客が見守る中、前回大会優勝で史上7校目の2連覇を目指す大三高(西東京)を先頭に、出場校が南から北の順に入場行進した。



第94回全国高校野球選手権大会の開会式で、入場行進する選手ら

94

回

甲子

園

94

回





# 昔難のラトビア移民地と日本移民 ヴァルパ植民地と日本移民

(1)

## 謎の過去を持つ一世たち



史料館職員のルシア(Lucia Zalit Bukolts)さん

「すべての歴史はある預言から始まりました」。ラトビア移民がパウリスタ延長線に1922年に創立したヴァルパ植民地で、ヤニス史料館(Museu Janis Edbergs)職員のルシア・ザリツト・ブツクオルツさん(55、ラトビア系二世)は、そんな神秘的な言葉で説明を始めた。28年に創立したバストス移住地にとって同地は、先輩格の植民地にして最も奇の登記所(出生・死亡届け、製材所など)がある領和の場所だった。32年バストス入植の阿部五郎さん(85、一世)に案内してもらい、同植民地を訪れた。

## イビラ・エラで灯籠流し

### 1945基に平和の祈り込め

バストスから見ると南東に45キロ、ツツパンの真南に位置する阿部さんはヴァルパに向かう途中、「バストス移住地へ入る道路はここから始まつたんです。先発隊は3ヶ月かけてここからバストスのセントロまでの道路を作った」とクワッタ街道を指差した。

「昔はバストスから木材を積んだトラックが毎日、ヴァルパの製材所に来ていた。僕らはそのトラックに便乗して登記所に来た。バストスとはど

ても関係の深いところなんですね」と懐かしそうに説明した。

◎

「ここに来た移民男性の大半は第一次大戦(1914~18年)に招集された元兵士で、平和な生活を求めて移住してきた。私の祖父もその一人です」。ヤニス史料館のルシアさんはそう説明を続けた。

「祖父によれば、祖国での出来事を語つたらアーチジから強制送還されるのではないかとみんな

怖いを語った。と願いを語った。

◎

「被爆地であつてほしい」と願いを語った。

